

みかん

丁寧な 収穫作業を



果樹林産センター
小杉 真啓

《樹上選果》

10月から行っている樹上選果を引き続き行ってください。落とす果実は、外觀不良果・天成り果・小玉果・遅れ花果等です。早生の収穫などで忙しい時期ですが、収穫まで樹上選果を徹底してください。

《収穫》

収穫開始時期にかかわらず果実の生育を見て収穫を始めてください。着色が7分以上のものから区分採取をしてください。収穫時は手袋をはめ、軸の二度切りを徹底し、丁寧な作業を心掛けましょう。

《浮皮軽減対策》

①クレント
クレント100倍を4〜5分着色期に散布

しましょう。散布後の降雨は効果を低下させるので、天候を見極めてから散布してください。

②フィガロン乳剤

フィガロン乳剤を3000倍に希釈して、蜜尻期に散布しましょう。フィガロンの使用回数は熟期促進と合わせて2回まで、摘果剤等も含めて総使用回数4回までです。また、樹勢の低下した樹には散布しないでください。

《秋肥》

秋肥は、収穫後の樹勢回復や耐寒性を向上させる「礼肥」的な働きと、次年度の着果量・発芽量を確保する「元肥」的な働きがある重要な施肥です。地温が12℃以下になると吸収効率が悪くなるため、適期に適量を施用して

ください。

・青島温州（11月上旬）
粒状固形248 60kg/10a
または、柑配6号 80kg/10a

《病害虫防除》

貯蔵病害を予防するため、収穫前に防除を行います。もちろん防除だけでなく果実の丁寧な取り扱いや貯蔵管理の徹底などすべての管理が、貯蔵病害の発生防止には重要です。

・ベフラン液剤25
2000倍（収穫前日〜3回）
・ベンレート水和剤
4000倍（収穫前日〜4回）